

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 01-314683

(43)Date of publication of application : 19.12.1989

(51)Int.Cl.

B62K 23/06

(21)Application number : 01-111915

(71)Applicant : CAMPAGNOLO SPA

(22)Date of filing : 28.04.1989

(72)Inventor : ROMANO ANTONIO

(30)Priority

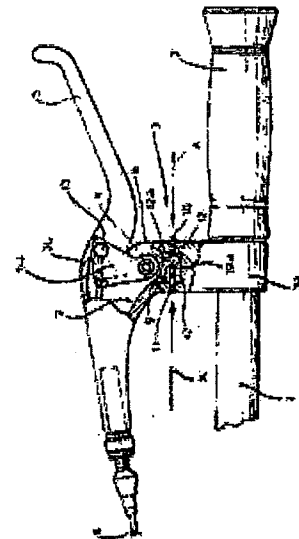
Priority number : 88 67401 Priority date : 02.05.1988 Priority country : IT

(54) ADJUSTABLE SUPPORT OF LEVER FOR CONTROLLING BICYCLE

(57)Abstract:

PURPOSE: To adapt a hand of any user to an adjustable support, irrespective of a side of the user, by incorporating an adjusting means for changing the position of a second member relative to a first member, between the first and second members.

CONSTITUTION: A second member 3b of a lever support 3 is incorporated with a protrusion 8 radially extending within a recess 9 formed in a first member 3a of the support 3. A non-head screw 12 incorporating an end face 112a making contact with opposite surfaces of the protrusion 8 is threadedly engaged in thread holes 10, 11 formed in the first member 3a so as to be laid along a common axis X-X perpendicular to a pivot shaft 41 of a lever 5. In order to change the relative distance between the lever 5 and a grip 2 of an handle lever 1, by turning the screw 12 with the use of a screw driver or the like, the relative angle between a second member 3b of the lever support 3 is changed relative to the first member 3b.



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平1-314683

⑬ Int. Cl.⁴
B 62 K 23/06

識別記号

庁内整理番号
7535-3D

⑭ 公開 平成1年(1989)12月19日

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全3頁)

⑮ 発明の名称 自転車用制御レバーの調節サポート

⑯ 特 願 平1-111915

⑰ 出 願 平1(1989)4月28日

優先権主張 ⑱ 1988年5月2日 ⑲ イタリア(IT) ⑳ 67401-A/88

⑳ 発 明 者 アントニオ・ロマノ イタリア国 バドヴァ, ヴイア・バルタ 32番

㉑ 出 願 人 カンパニョーロ・エツ イタリア国 36100 ヴイチェンツァ, ヴイア・デルラ・セ・エルレ・エルレ キミカ 4番

㉒ 代 理 人 弁理士 青山 葆 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

自転車用制御レバーの調節サポート

2. 特許請求の範囲

1. 自転車等のハンドルバーに連結された制御レバー用サポートにおいて、レバー(5)が枢着された本体(3)と、ハンドルバー(1)に固定された第一部材(3a)と、該第一部材(1)に枢着されると共にレバー(5)が枢着された第二部材(3b)と、第一及び第二部材間に介在し第一部材(3a)に対する第二部材(3b)の相対角を定めるための調節手段(12、8)を備えたことを特徴とする自動車用制御レバーの調節サポート。

2. 本体(3)の第二部材(3b)は制御レバー(5)と同心上に第一部材(3a)に枢着されていることを特徴とする請求項1記載の自動車用制御レバーの調節サポート。

3. 前記調節手段は、第一部材(3a)に取り付けられた枢着軸(4)に対し半径方向に第二部材(3b)に形成された突起(8)と、第一部材(3a)に形

成されその内部において前記突起(8)が所定角度回転する凹部(9)と、第一部材(10、11、3a)と係合すると共に第二部材の突起(8)と当接し第一部材と協同して該突起(8)を固定するための調節ねじ部材(12)より構成されていることを特徴とする請求項1記載の自動車用制御レバーの調節サポート。

4. 前記調節ねじ部材は、第一部材(3a)に対する第二部材(3b)の枢着軸(4)に大略直角な共通軸(X-X)に沿って第一部材(3a)に螺着され、第二部材(3b)の半径方向の突起(8)の両面と当接する端面(12a)を備えた2本の無頭ねじ(12)から成ることを特徴とする請求項3記載の自動車用制御レバーの調節サポート。

3. 発明の詳細な説明

<産業上の利用分野>

本発明は、自転車、オートバイ等のハンドルバーに連結された制御レバーのサポートに関する。

<従来技術>

自転車等の制御レバーを操作していない時、こ

のレバーとハンドルバー間の距離は、ユーザーの手の平均的な大きさに基づいて設計段階で決定される。

<発明が解決しようとする課題>

しかしながら、その最適距離はユーザーにより個人差があり、どのように設計してもユーザーの個々の要求を満足しえない場合も多い。

本発明は、従来技術の有するこのような問題点に鑑みてなされたものであり、ユーザーの手の大きさに関係なく、どのユーザーの手にも適合する制御レバー用調節サポートを提供することを目的としている。

<課題を解決するための手段>

上記目的を達成するために、本発明の自転車用制御レバーの調節サポート本体は、ハンドルバーに固定された第一部材と、この第一部材に枢着されると共にレバーが枢着された第二部材と、第一及び第二部材間に介在し第一部材に対する第二部材の相対角を変えらるための調節手段を備えたことを特徴とする。

-3-

部材 3 b には空所 7 が形成されており、この空所 7 内に制御レバー 5 の一端 5 a が収容されている。第二部材 3 b は更に、サポート 3 の第一部材 3 a に形成されている凹部 9 において半径方向に延在する突起 8 を備えている。第一部材 3 a にはねじ穴 10、11 が形成され、突起 8 の両面と当接する端面 12 a を備えた無頭ねじ 12 が螺着されている。このねじ 12 は第一部材 3 a に対し、レバー 5 の枢着軸 4 に垂直な共通軸 X-X に沿って取り付けられている。

レバー 5 とハンドルバー 1 のグリップ 2 の間の相対距離を変える場合には、例えばねじ回しを使用して、ねじ 12 を回動させ、レバーサポート 3 の第二部材 3 b の第一部材 3 a に対する相対角を変えればよい。レバー 5 は、操作していない時には、部位 13 においてサポート本体 3 と当接しているが、第二部材 3 b が軸 4 の回りに回動することにより、レバー 5 をハンドルバー 1 の方向あるいはその逆方向に移動させることができる。

尚、本発明は前記した実施例に限定されるべき

<作用>

上記のように構成されたサポートの調節手段を操作することにより、ハンドルバーと制御レバー間の距離を変えることが可能となる。

<実施例>

以下、本発明の一実施例について、図面を参照しながら説明する。

第 1 図は山岳用自転車のハンドルバー 1 の一端を示している。このハンドルバー 1 には、前及び後ブレーキの制御レバーが大略同一の水平面内に配設されている。

ハンドルバー 1 の両端にはそれぞれハンドルグリップ 2 及びサポート 3 が公知の方法で取り付けられている。このサポート 3 には更に、ブレーキのフレキシブルケーブル 6 を操作するためのレバー 5 が部位 4 において枢着されている。

レバー 5 のサポート 3 はハンドルバー 1 に固定された第一部材 3 a 及びレバー 5 と同心上に部位 4 において第一部材 3 a に枢着されている第二部材 3 b により構成されている。サポート 3 の第二

-4-

ものではなく、当業者には種々の変形が考えられる。このような変形は、本発明の趣旨から逸脱しない限り、本発明の範囲に含まれているものと解すべきである。

<発明の効果>

本発明は、以上説明したように構成されているので、どのユーザーの手にも適合するように、制御レバーをハンドルバーの最適位置に調節することが可能である。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は自転車のハンドルバーの一端に取り付けられた本発明にかかる制御レバー用サポートの部分断面平面図である。

1…ハンドルバー、2…グリップ、3…サポート、3 a…第一部材、3 b…第二部材、5…レバー、8…突起、9…凹部、10、11…ねじ穴、12…ねじ

特許出願人 カンパニョーロ・エッセ・エ・レ・エ・レ

代理人 弁理士 青山 稔 外 1 名

-5-

-6-

Fig. 1

